

## 「第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成27年7月26日に開催した「第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」の内容は次のとおりでした。

名 称	第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
出席者	施策調査専門委員会 浅枝 隆、伊集 守直、鈴木 雅一、田中 充、吉村 千洋 県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、中門 吉松、西 寿子、 前田 裕司、森本 正信 (上記以外) 青砥 航次、佐藤 恭平、服部 俊明、林 義亮、増田 清美
開催日時	平成27年7月26日(日) 10:30~16:50
開催場所	横浜シンポジア(産業貿易センタービル9階)
内 容	<p>(1) 開催趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水源環境保全・再生の取組の情報提供・発信等を行い、県民意見を幅広く収集するとともに、「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」及び水源環境保全税についての県民周知を目的に実施した。</li> <li>特に第2期5か年計画満了時には、施策の前半10年の節目を迎えることから、これまでの取組状況全体を紹介するとともに、参加者と意見交換するための県民フォーラムを開催した。</li> <li>説明や意見交換を十分に行うことが可能なホール会場での開催とした。</li> </ul> <p>(2) 開催内容</p> <p>【午前の部】(議場)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会あいさつ…県民会議 田中座長、吉川副知事</li> <li>基調講演「水源地域の多様な役割と未来」… 涌井 雅之氏(ランドスケープアーキテクト・東京都市大学教授)</li> <li>これまでの取組みについて…市川水源環境保全課長 ・配布資料の内容紹介</li> <li>討議の趣旨・論点説明…県民会議 田中座長 ・午後の部における討議の趣旨・論点説明</li> </ol> <p>【午後の部】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>意見発表(全体会)〔議場〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>有識者5名から討議を行う上での参考意見を発表 (意見発表者)</li> <li>「水源保全地域の経済的価値の向上」…長崎大学大学院教授 吉田謙太郎氏</li> <li>「森林環境と水源かん養機能」…東京農工大学准教授 五味高志氏</li> <li>「林業現場と住宅建築における県産木材利用の現状」… 株神工舎建築工房 代表役員 田代信行氏</li> <li>「丹沢大山自然再生計画によるシカと森林の一体的管理」… 日本獣医生命科学大学教授 羽山伸一氏</li> <li>「水源河川流域の水質に関する現状と課題」…埼玉大学大学院教授 浅枝隆氏</li> </ul> </li> <li>討議(分科会)〔分科会A~D会場〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>4グループ(1グループ約30名)に分かれ、テーマ「これまでの10年の総括、これからの10年の取組み」について討議した。</li> </ul> </li> </ol>

③ 質疑・意見集約・評価アピール発表（全体会）〔議場〕

- ・分科会の各グループリーダーから討議概要を発表、発表内容に関する質疑及び意見交換、全体での意見集約を行った後、県民会議田中座長から評価アピール発表。

(3) 主催者

水源環境保全・再生かながわ県民会議

- ・施策調査専門委員会の有識者委員4名が分科会のグループリーダーを務め、公募委員7名が受付や案内などの会場運営のほか、分科会での進行役、書記を担当した。

(4) 参加者数

141名／200名（最大収容者数） ※アンケート回収数61枚

5 開催効果

- ・ 配布資料（「かながわ水源環境保全・再生これまでの取組み」）により、水源環境保全・再生施策の内容やこれまでの取組状況等について情報提供することができた。
- ・ 分科会では、水源環境保全・再生施策に対する課題等について、参加者による討議が行われ、事業内容等に関して様々な意見が寄せられた。

次頁に当日の様子（写真）を掲載



(県会議田中座長 開会あいさつ)



(吉川副知事 開会あいさつ)



(基調講演(涌井雅之氏))



(有識者による意見発表(全体会))



(討議(分科会))



(討議概要発表(全体会))



(質疑、意見集約(全体会))



(評価アピール発表(田中座長))



---

第25回 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

## 水源環境保全税による取組みの これまでとこれから

2015. 7. 26(日) 横浜シンポジア

---

### 【アンケート集計】



【アンケート用紙】

第25回水源環境保全・再生がなわ県民フォーラム 水源環境保全税による取組みのこれまでとこれから  
来場者アンケート

本日は、お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。今後の取組みの参考とさせていただきますので、お手数ですが、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。  
該当する番号に○をつけてください。

ご自身のことについて教えてください。

居住地 1. 県内 ( ) 市町村 ( )  
2. 県外 ( ) 都道府県 ( ) 市町村 ( )

性別 1. 男性 2. 女性 ( )

年齢 1. ~10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代  
8. 80代~ ( )

参加形態 1. 終日参加 2. 午前のみ参加 3. 午後のみ参加 ( )

Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか。(複数回答可)

1. 森林の保全 2. 森林の多面的機能の発揮(水源かん養機能、土砂流出防止機能等)  
3. 林業の振興 4. 木材の利用 5. 生態系の保全 6. 漏水への対応  
7. 水害や土砂災害への対応 8. 気候変動による水循環への影響  
9. ダム湖の水質 10. 河川の水質 11. 地下水の保全 12. 水辺空間の保全・創出  
13. 市民活動の促進 14. 水源環境の保全に関する理解・教育促進 15. 特になし  
16. その他 ( )

Q2 神奈川県これまでの水源環境保全・再生の取組みについて、効果があったと思うものは何ですか。また、今後力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。  
効果があつたと思う順、取り組む必要があると思う順に3つお答えください。

1. 森林の保全・再生(水源林整備、土壌保全等の基盤整備、生物多様性保全などの取組み)  
2. 河川の保全・再生(生態系に配慮した水辺環境の整備、ダム湖の水質浄化などの取組み)  
3. 地下水の保全・再生(地下水のかん養・水質保全などの取組み)  
4. 水源環境への負荷軽減  
(家庭や事業所等からの排水によるダム湖や河川の水質汚濁の軽減などの取組み)  
5. 相模川水系上流域対策の推進  
(相模川水系上流域(山梨県)における森林整備や生活排水の水質浄化などの取組み)

それぞれ選択番号(1~5)をご記入ください。  
効果があつたと思うもの 1番目( ) 2番目( ) 3番目( )  
今後取り組む必要があるもの 1番目( ) 2番目( ) 3番目( )

Q3 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約890円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 税金の名前は聞いたことがあるが、詳しいことは知らなかった  
3. 知らなかった(今回の県民フォーラムで初めて知った)

Q4 水源環境保全税を活用した水源環境保全・再生の取組みについて、重要だと思いますか。

1. 重要 2. どちらかといえば重要 3. どちらかといえば重要ではない  
4. 重要ではない 5. わからない  
理由( )

Q5 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。

1. 泉のたより 2. テラシ 3. バス車内の動画広告 4. 電車の中吊り広告  
5. 駅構内のポスター広告 6. 新聞記事 7. 県のホームページ  
8. 所属する団体を通じて 9. 友人・知人から  
10. その他 ( )

Q6 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。

1. 良かった 2. ふつう 3. 改善が必要  
理由( )

Q7 今回の県民フォーラムの時間・場所・曜日設定についてはいかがでしたか。  
(ア) 時間 1. 良かった 2. ちょうどよい 3. 短かった  
(希望する時間: )  
(イ) 場所 1. 良かった 2. 改善が必要(希望する場所: )  
(ウ) 曜日 1. 良かった 2. 別の曜日が良い(希望する曜日: )

Q8 今回の県民フォーラムで良かった内容はありましたか。(複数回答可)

1. 基調講演 2. これまでの取組みについて 3. 意見発表 4. 討議  
5. 評価アピール発表  
自由意見( )

Q9 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご感想をお聞かせください。  
回答を希望される場合は、「回答を希望する」にチェックをつけてください。  
回答は後日県水源環境保全課ホームページに掲載させていただきます。

回答を希望する

ご意見・ご感想の内容を下記番号より選択し、記載してください。(複数選択可)  
①森林関係 ②水関係 ③県民参加 ④県民フォーラムの内容・運営 ⑤配布資料 ⑥その他

意見番号 \_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。ご記入後は受付に設置してある回収箱にご投函ください。

【アンケート回収結果】

◎回収枚数 : 61枚

【回答者情報】

◎居住地 県内 52 県外 8 未記入 1  
(内訳)

県内 : 横浜市(24)、川崎市(4)、厚木市(3)、伊勢原市(3)、相模原市(3)、秦野市(3)、鎌倉市(2)、座間市(2)、大磯町(1)、小田原市(1)、茅ヶ崎市(1)、藤沢市(1)、南足柄市(1)、山北町(1)、県内未記入(2)

県外 : 東京都(4)、山梨県(2)、群馬県(1)、栃木県(1)

未記入(1)

◎性別

男性(50) 女性(8) 未記入(3)

◎年齢

~10代(0)、20代(4)、30代(3)、40代(5)、50代(20)、60代(15)、70代(12)、80代~(0)、未記入(2)

◎参加時間帯

終日参加(31)、午前のみ参加(14)、午後のみ参加(6)、未記入(10)

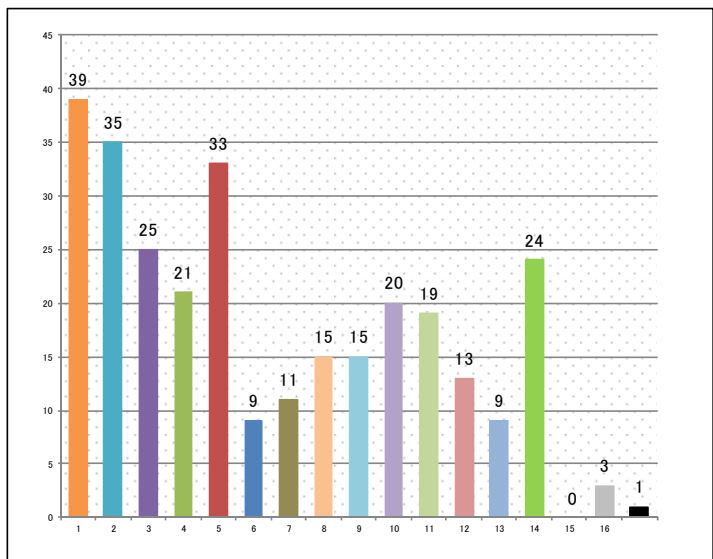
第25回 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム  
 水源環境保全税による取組みのこれまでとこれから アンケート集計

サンプル数	61
-------	----

※複数回答がある為  
 パーセンテージ不整合

Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか(複数回答可)

1	森林保全	39
2	森林の多面機能の発揮	35
3	林業の振興	25
4	木材の利用	21
5	生態系の保全	33
6	渇水への対応	9
7	水害や土砂災害への対応	11
8	気候変動による水環境への影響	15
9	ダム湖の水質	15
10	河川の水質	20
11	地下水の保全	19
12	水辺空間の保全・創出	13
13	市民活動の促進	9
14	水源環境の保全に関する理解・教育促進	24
15	特になし	0
16	その他	3
	未記入	1

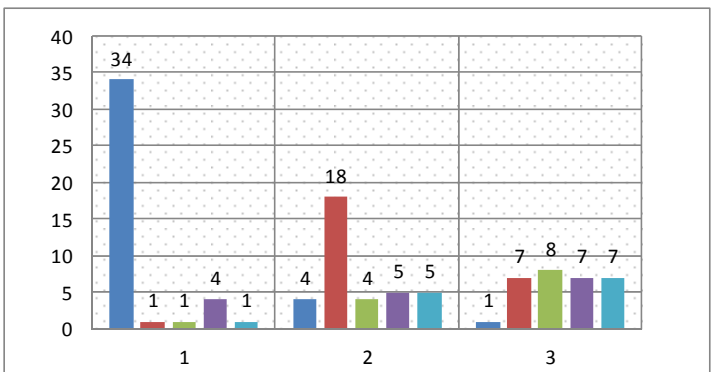


Q2 神奈川県の水源地環境保全・再生の取組について、効果があったと思うものは何ですか。また、今後力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。効果があったと思う順、取り組む必要があると思う順に3つお答えください

1. 森林の保全・再生
2. 河川の保全・再生
3. 地下水の保全・再生
4. 水源環境への負荷軽減
5. 相模川水系上流域対策の推進

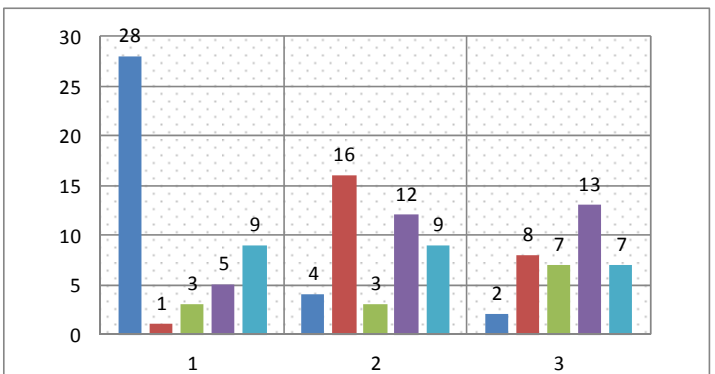
【効果があったと思うもの】

	1番目	2番目	3番目	
1	森林の保全・再生	34	4	1
2	河川の保全・再生	1	18	7
3	地下水の保全・再生	1	4	8
4	水源環境への負荷軽減	4	5	7
5	相模川水系上流域対策の推進	1	5	7



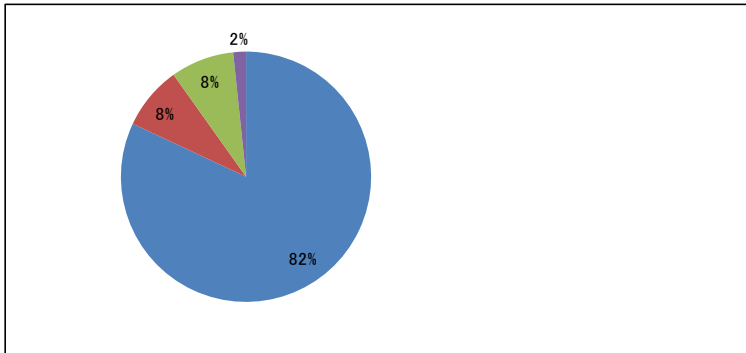
【今後取り組む必要があるもの】

	1番目	2番目	3番目	
1	森林の保全・再生	28	4	2
2	河川の保全・再生	1	16	8
3	地下水の保全・再生	3	3	7
4	水源環境への負荷軽減	5	12	13
5	相模川水系上流域対策の推進	9	9	7



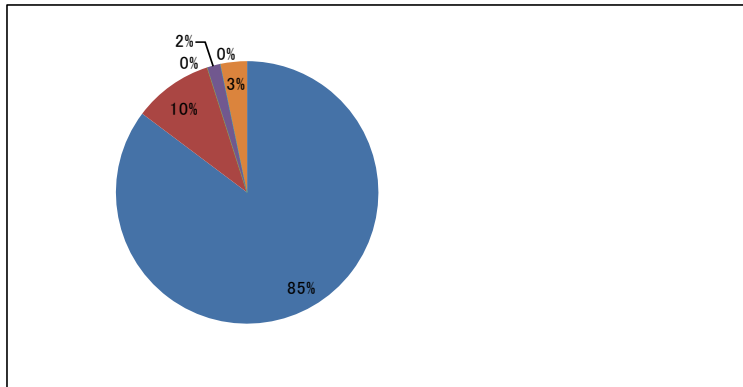
**Q3 神奈川県では平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約890円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについてご存知でしたか。**

1	知っていた	50
2	税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった。	5
3	知らなかった	5
	未記入	1



**Q4 水源環境保全税を活用した水源環境保全・再生の取組について、重要だと思いますか。**

1	重要	52
2	どちらかといえば重要	6
3	どちらかといえば重要ではない	0
4	重要ではない	1
5	わからない	0
	未記入	2



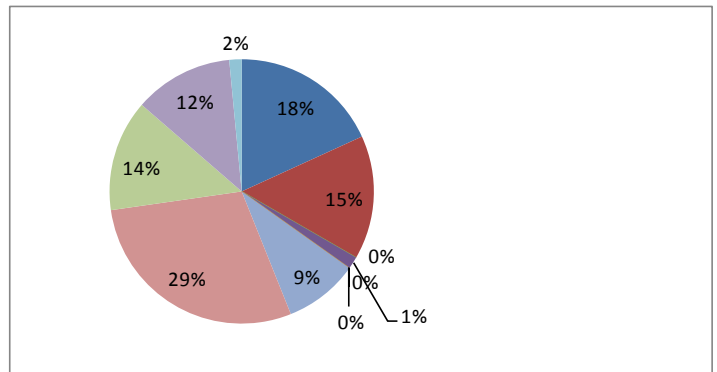
**【理由】**

- ◎現在の社会経済状況では水源環境の保全は、公的支援(税等)が必要(重要)
- ◎啓発活動へのシフト(重要)
- ◎水をとりまく環境を良くするためには是非必要(重要)
- ◎人間の水はもちろん生態系を守るためにも森や川が大切だと思うから(重要)
- ◎水は生命の源 水が涸れれば全ての生態系の滅亡(重要)
- ◎水源は市街から遠く離れた場所にあることや、人口の多い市街地居住者が水を多く使っている。水源環境保全税は今後も必要だし、多いに取り組んで欲しい。保全税は有効に使って欲しい。(重要)
- ◎県民に保全税のピーアールを強くすべき(重要)
- ◎生活環境の向上、保全、山地の保全(重要)
- ◎まだまだ上流域の問題や、取水堰付近の生活排水の浄化などの問題などやらなければならないことが多い 鹿の問題も中途半端である(重要)
- ◎自分たちの生活の事だからね(重要)
- ◎自前(県内)で水を確保するために重要(重要)
- ◎森林保全は重要(重要)
- ◎取り組まないと水資源が維持できない(重要)
- ◎これまでの県の取組みでは必要ない。税がもったいない。ゆえに税はやめるべき。(重要ではない)
- ◎超過課税をしてまでやるほど重要とは思えない。一般財源からやればよい(無記入)



**Q5 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。**

1	県のため	12
2	チラシ	10
3	バス車内の動画広告	0
4	電車内の中吊り広告	1
5	駅構内のポスター広告	0
6	新聞記事	0
7	県のホームページ	6
8	所属する団体を通じて	19
9	友人・知人から	9
10	その他	8
	未記入	1

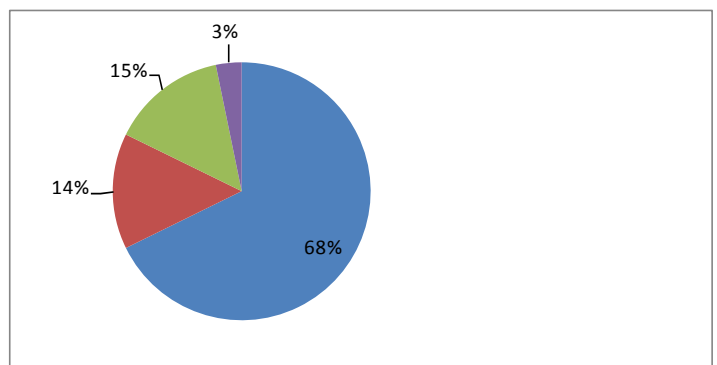


**【その他】**

- ◎ 県民参加の森林づくりボランティアに参加して
- ◎ 案内メール
- ◎ 県からの通知(2)
- ◎ 県からのご案内
- ◎ 桂川・相模川流域協議会の役員から言われて

**Q6 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。**

1	良かった	42
2	ふつう	9
3	改善が必要	9
	未記入	2



**【理由】**

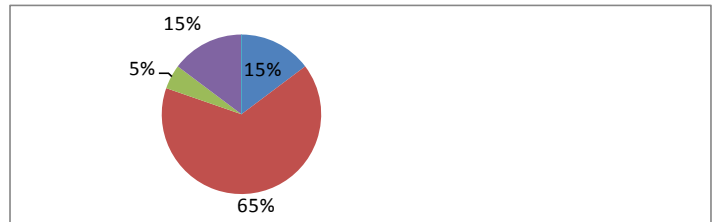
- ◎ 水資源環境保全税の用途・効果を具体的には知ることができました。(良かった)
- ◎ 県のこれまでの取組がわかりやすく説明されていた。(良かった)
- ◎ 基調講演の講師のグローバルな課題のとらえ方がすばらしかった。(良かった)
- ◎ 参加型のフォーラムとなっているところ。(良かった)
- ◎ 森林の大切さが理解できた(良かった)
- ◎ 涌井先生の講演がよく理解できた。(良かった)
- ◎ 多方面の立場の人の意見(良かった)
- ◎ 基調講演と意見発表が良かった(良かった)
- ◎ 講演で貴重な話を聞くことができ、自らの環境問題に対する知識・意識を確認することができた。(良かった)
- ◎ 涌井先生の基調講演(2)(良かった)
- ◎ 分科会はそれぞれ独立した部屋を準備したほうが良い(ふつう)
- ◎ 関係者の生の声が聞けたことはよかったが、神奈川県民の声をもっと聞きたかった。(ふつう)
- ◎ 討議において適格な回答が出来るような人材を加えて欲しい。(改善が必要)
- ◎ 分科会にした意義はあったのか。4グループでテーマは別々だったのかor同じ？(改善が必要)
- ◎ 参加者に一般県民が少ない。ほとんどが関係者。これが最大の課題と思う。(改善が必要)
- ◎ 冷やしすぎ(改善が必要)
- ◎ 分科会の位置づけがよくわからなかった。(改善が必要)
- ◎ 同一方向を向いていない。(改善が必要)

**Q7 今回の県民フォーラムの時間・場所・曜日設定についてはいかがでしたか。**

ア. 時間		
1	長かった	9
2	ちょうどよい	40
3	短かった	3
	未記入	9

【希望する時間】

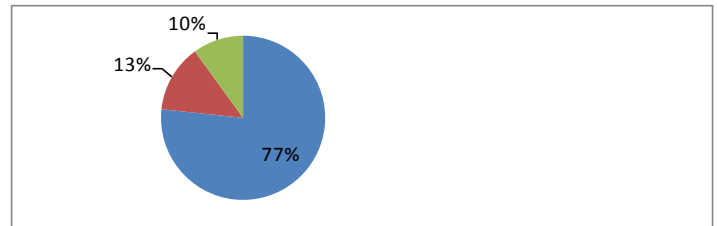
- ◎内容あるものと考えたらこれくらいの時間はいたしかたない (ちょうどよい)
- ◎午後の3時間位(長かった)
- ◎半日(長かった)
- ◎講師の話時間が短い(短かった)



イ. 場所		
1	良かった	46
2	改善が必要	8
3	未記入	6

【理由】

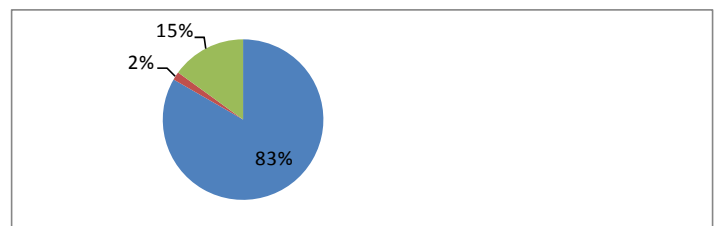
- ◎駅に近いこと
- ◎横浜駅前周辺
- ◎厚木か海老名



ウ. 曜日		
1	良かった	50
2	別の曜日が良い	1
3	未記入	9

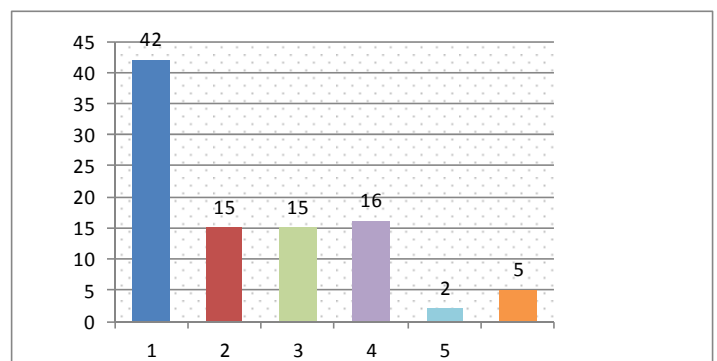
【希望する曜日】

- ◎土曜日



**Q8 今回の県民フォーラムで良かった内容はありましたか。(複数回答可)**

1	基調講演	42
2	これまでの取組みについて	15
3	意見発表	15
4	討議	16
5	評価アピール発表	2
	未記入	5



【自由意見】

- ◎山梨・桂川の重要性に欠けていた。水源税を山梨へも多くお願いしたい。
- ◎意見発表の時間が少ないのでは
- ◎意見発表は1人10分では短すぎるのもつたいない。
- ◎討議テーマが固定でなかったので少し心配したがいろいろな話が聞けて良かった。
- ◎桂川、相模川流域協議会が各グループでPR活動をしていたのか。山梨県民からの発言が目立ったようだが、山梨県は水源環境保全のための予算をどの位つぎこんでいるのか。或いは山梨県内では水質がきれいだからそんな予算は不要なのか。ともすれば神奈川県税金を山梨県のためにもっと使ってくれということか。“流域”というキーワードをもって、悪乗りし過ぎと思ってしまう。
- ◎「これまでの取組みについて」もう少し時間をとってよかったと思う。

## Q9 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご感想をお聞かせください。

回答を希望される場合は、「回答を希望する」にチェックをつけてください。

回答は後日県水源環境保全課ホームページに掲載させていただきます。

ご意見・ご感想を下記より選び、記載してください。(複数選択可)

①森林関係 ②水関係 ③県民参加 ④県民フォーラムの内容・運営 ⑤配布資料 ⑥その他

【回答を希望する】 11件

### ※意見番号①

◎森林保全・再生のとりくみは継続して欲しい。

◎森林を整備するにはどのような、また再生の方向をどのように考えているか。何川の樹林化を止める方法は考えられているのか。

(意見番号①②選択)

### ※意見番号②

◎ダム湖の水質改善にさらに努力して欲しい

◎水源(桂川は富士山に流れる水と地下水は富士五湖があり、富士五湖全体が水源であります。何度も書きますけれど富士吉田市、富士河口湖町、山中湖村、忍野村、西桂町、都留市、大月市、上野原市の住民が森林のカンヨウ、一般廃棄物処理及び清掃に関する法律、市町村長の固有事務で、又浄化槽法の示している生活排水について、市町村に働きかけて単独浄化槽を道志村のように市町村設置型合併浄化槽の設置に力を入れていただくように市町村に働きかけていくのでお願いします。

### ※意見番号③

◎第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラムの資料である冊子(県民会議46ページ)を税負担に協力いただいた県民の皆様にする等、今後の水源環境保全・再生活動への更なる理解とご協力に向けた取組みを検討されてはいかがでしょう。(意見番号③⑤選択)

(①冊子のミニマム化 ②中学・高校・大学などにおける特別授業化 ③自治体や公益的会社とのコラボレーションによる全戸配布)

◎フォーラムの開催周知の方法を再考して欲しい(もっと一般の住民に周知を)

### ※意見番号④

◎山梨県との連携は続けて欲しい

### ※意見番号選択なし

◎水源環境保全税は県民はまだよく理解していないのではないかと。県のたよりなどで報告はされているが、イラストなどで分かりやすい活動事業の必要性を伝えるようにしたら良いかと思えます。県民が理解できれば更に良い取り組みとなると思う。

神奈川の水源があたかも4つのダムで成り立っている様な資料が多いが、山梨など他県との協力している活動や取組があるはず。神奈川の水は上流の協力があってのもので。他県との協力事業はどの様な物があるのかまたどの位税金を拠出しているのですか。

◎専門家による評価を提示してほしい。その上で県民目線の評価を加えるべき。

◎水源環境保全の当初目的を忘れないで欲しい。

【回答を希望しない】 26件

### ※意見番号①

◎神奈川県も子供への教育にも力を入れて欲しいと思いました。(意見番号①・②選択)

◎これまでの取組で判明した課題に対して水源税を有効に活用して欲しい。水源環境の保全に関しては20年といわずロングスパンで進めてほしい。

◎20年間の水源環境保全・再生対策が終了した後の対策を考えたい。今後10年間の取組を新たに展開していく必要がある。

◎シカが10年で自然保護のシンボルから目のかたき。今後とのしっかりした管理が必要。

### ※意見番号②

◎山梨県、静岡県の上流地域との協力関係が必要。

### ※意見番号③

◎水資源環境保全税のような目的税については多くの県民にその使徒・効果等を広報する機会を各地で行うべきと思う。

1年1回のフォーラムでは不十分。

◎県民へのアピールが必要。関心を引くためには税額のUPも必要

◎広報活動—これまでも充分に行っていると思うが、まだ工夫の余地ありと思う。いかに一般市民に広く、わかりやすく、何より興味を持ってもらえるか。興味を持ってもらった上で、より幅広い参加がある。

**※意見番号④**

- ◎関係者の方の熱意は伝わりましたが、関係者以外の方の参加が少ないことにさびしさを感じます。  
(特に若い人の参加がすくないかと・・・)  
継続的な活動になるようにより広報に力を入れた方がよいかと思いました。  
(一般の人にもより開かれた感じになれば)
- ◎午後の分科会について「何をするのか」「どのように行うのか」について申込み時やチラシなどの宣伝媒体に記載して頂きたいと思いました。  
私も含めて初めての方もより参加しやすくなるのではないかと思います。
- ◎意見発表が時間不足。基調講演はまとまりがなかった。

**※意見番号⑤**

- ◎資料が多い
- ◎硬軟お混ぜての資料作り、及び広報の方法まですばらしい「モデル」として広くPRすべき

**※意見番号⑥**

- ◎周りの椅子をやめて、3人ずつ席にすわらせば
- ◎討議グループ(分科会)の構成員知りたい。(行政・団体・県民など大きな枠でいいので)
- ◎超過課税という特別な負担を県民に求める以上、事業の範囲は拡大すべきでない。

**※意見番号選択なし**

- ◎ 1.何のためのフォーラムか不明。シンポジアでは参加者も少ない。
  - 2.税はやめるべき。取組が情性。
  - 3.通常の林業の取組みなどと連携し、取組みをミックスさせ効果を上げるべきである。
  - 4.つまらないパンフレットをいくつもつくる必要ない。
  - 5.外国が水資源林買収に走っている。調査・対策しているか。
- ◎根底に有るのは東日本大震災(福島原発の対応)と思われます。一般国民としては国民の健康と国家の安定(平和)と感じます。
- ◎もっと一般の市民に取組みを知ってもらうこと。
- ◎水質汚染(リン等)の原因をなくす政策が必要なのでは。
- ◎県民や子供たちを対象にした水源森林ツアーや森林学習を企画・実行してほしい。今後の10年は森や川などを取り入れながら、感性を育てる環境教育にも取り組んで行きたい。